

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	災害復旧事業(農林水産業施設)			
予算科目	11 款 1 項 2 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり 産業の振興			
所管課情報	担当課:	農林水産課	電話番号(内線):	0
記入者情報	所属長:	米井 司	担当責任者:	角田 栄治
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】 平成 年度 【開始年度】 設定なし			
事業の対象	農業者等(受益者)			
根拠法令等				
事業の目的	災害で農林水産業施設に大量の崩土及びごみが流入してきた場合、撤去することにより、農林水産業施設を早期機能回復をさせる。			
事業の内容	農林水産業施設への崩土及びごみを、作業員賃金・重機借上げ料及び委託料により、緊急的に取除きを実施する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	0	4,900	0	4,226
	人件費	0	406	0	406
	合計	0	5,306	0	4,632
人件費 内訳	人工数	0.00	0.05	0.00	0.05
	人件費単価	0	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	0	406	0	406
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	5,306	0	4,632

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
直接事業費	千円	0	4900	0	4226

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	0	0	0	0	0	0

成果指標				
成果指標	実施事業費÷被災事業費			
指標設定の考え方	被災事業費に対する実施事業費の割合を上げることで、機能回復を図ることになる。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	-	100%	0	0
実績	-	86.2%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	公共工事が激減した中で、土木業者数及び業者の雇用人数・所有重機も激減しているため、災害の後すぐに対応できないものが数多くあった。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	当事業は、被災した農林水産業施設を早期に機能回復させる重要な事業であるため、公共工事の激減の厳しい中ではあるが、引き続き事業継続する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題